



医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第38号

(H28/8/8)



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。

8月に入り、35℃近くの暑いアツイ日々が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか？

夏の新鮮野菜を近くの農家直売所に行きたくたび必ず買う野菜の一つに「万願寺とうがらし」があります。焼いてスタチ醤油で食べたり煮びたしにしたり・・・我が家では週2回は食卓に出る夏場のレギュラー野菜です。そこで万願寺とうがらしについて調べてみました。

「舞鶴市発祥の京野菜で5月上旬～9月中旬にかけて多く出回ります。果肉が大きくて分厚く軟らかく、辛くなく種が少ないなど食べやすいことが特徴で、その大きさから「唐辛子の王様」と呼ばれています。万願寺とうがらしはピーマンの約2倍量のビタミンAを含んでおり、油と組み合わせることでさらに吸収が良くなります。」

らしいです。ビタミンも多い旬の野菜、皆様もこの時期に食べて暑～い夏を過ごしてください。

第47回ワーキング会議(7/28)

ひこね燦ばれず

初参加 14名を含む 42名で行いました。

〈参加職種：医師・歯科医師・病院看護師・訪問看護師・保健師・薬剤師・管理栄養士
介護支援専門員・鍼灸マッサージ師・福祉用具専門相談員・学生・行政〉
「米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」での取り組み」を聞いて

感じた事・印象に残ったこと

- ・断らない姿勢を続けている
- ・地域包括センターの見方がかわった。
- ・往診160人というのがすごい
- ・子供～高齢者まで一貫している
- ・児童発達支援に力を入れているのがすごい
- ・笑顔が増える医療福祉、それに賛同するスタッフがこの地域にいることに感動した。
- ・地域で支えるために地域で完結している。
- ・木原地区は病院がないからできたのではないかな？
- ・医師でも大変なのによくされている
- ・広い視点でとらえられている。住民とのつながりがある。
- ・こういうところで働いてみたいと思った。
- ・訪問看護であつたらいいなと思っていたものがここにはある
- ・キーパーソンがいないとできない。



中村先生への質疑応答

- ・立ち上げきっかけは？
⇒主となるスタッフが集まってきた
病児病後児保育、診療所をしたいと思っていた。ひまわり教室や市の職員からの紹介などで現スタッフが集まりスタートした。
- ・職員の教育・育成について
⇒半年以上の他施設での研修
- ・経営・採算は
⇒児童発達支援は市からの補助・診療は自費 ±0
継続目的であればそれくらいがサービスがいきわたってということ。
- ・成人の生涯のあるかたに対して
⇒就労支援とのつながりをさがしている。



次第



☆あいさつ・報告・連絡事項

☆〇 情報提供

「米原市地域包括医療福祉センター

「ふくしあ」での取り組み」

講師：中村泰之先生

(米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」センター長)

〇19:15～ グループワーク

彦根で1年ぶりの開催だったこともあり、彦根で活動されているかたなどたくさんの方に声をかけていただき、彦根のパワーをかんじられるワーキンググループ会議になりました。

今後のワーキンググループ会議の予定

9月29日(木) 18:30～

平成28年度 医療福祉・在宅看取りの地域創造会議

総会・研修会

平成28年8月27日(土)

13:00～17:00

ホテルピアザびわ湖 6階 クリスタルルーム

基調講演

「(仮) 地域包括ケア時代の医療福祉・介護について」
講師 (滋賀県医療福祉アドバイザー)：榎本真津氏
シンポジウム

シポジスト 本多 朋仁さん(医療法人かおり会 理事長)

溝江 恵子さん

(近江八幡市立総合医療センター 師長)

意見交換会

滋賀の医療福祉福祉を守り育てる

県民フォーラム

平成28年11月26日(土) 13:00～16:30(予定)

ピアザ淡海 ピアザホール

麻倉キイトさん(歌手・モデル)



医療福祉・在宅看取りの地域創造会議

運営事務局

(滋賀県庁 医療福祉推進課内) 貝沼・橋本

TEL:077-528-3581

FAX:077-528-4851

